

## 世界情勢と主の回復に関する時機を得た言葉:

### #3:神のエコノミーにしたがった宇宙の歴史-

#### 人類歴史の内側にある神聖な歴史 8/3-9 OL Summary:

I. この宇宙には、二つの歴史があります。すなわち、人の歴史(人類歴史)と神の歴史(神聖な歴史)です。前者は、外側の殻のようなものであり、後者は、殻の内側の核のようなものです: A. 私たちは人類歴史の内側にある神聖な歴史について、明確な展望を持つ必要があります: 人の歴史、世界の歴史、物質的な人類歴史は、外側のものです。神聖な歴史、すなわち人と共にあり、人の中にある神の歴史は、内側のものです。この歴史は、人性の中にある三一の神の奥義の事柄です/キリストが肉体と成る前、神は人と共に、人の間で行動しました。この事は、キリストと召会のために神の永遠のエコノミーを遂行するという神の直接的な行動ではありませんでした。それは、神の旧創造における間接的な行動であって、神の永遠のエコノミーのために神の新創造における直接的な行動を準備するためでした/神の歴史は二つの部分から成っています。すなわち、旧約の中に見いだされる、人「と共にある」神の歴史と、新約の中に見いだされる、人「の中にある」神の歴史です/人の中にある神の歴史は、肉体と成ることをもって始まりました。そして、肉体と成ること、人の生活、十字架、復活、昇天という彼の過程をもつて継続しました。ホセア11:4は、これらが人の綱、愛のきずなであると言います/神聖な歴史、人の中にある神の歴史は、キリストが肉体と成ることから、彼の昇天を経過して命を与える霊と成ったことであり、神聖な歴史はその後、彼が私たちに内住することをもつて継続しています。この内住することは、再生、聖別、更新、造り変え、同形化、栄光化という神の有機的な救いを通してであり、私たちがキリストの栄光の花嫁とします/この事は、その霊としてのキリスト、すなわち、手順を経て究極的に完成された三一の神が、花嫁としての召会、すなわち、手順を経て造り変えられた三部分から成る人と結婚することにおいて、頂点に達します/主の再来の時、二人の人物が対峙します。すなわち、反キリスト(外側の人類歴史の中の人物)と、キリスト(内在的で神聖な歴史の中の人物)です/キリストは再来し、彼の軍隊である彼の勝利者たちと共に下ってきて、反キリストと彼の軍隊を打ち破ります/神聖な歴史の中の人物が、人類歴史の中の人物を打ち破った後、千年王国がやって来ます。この王国は、新エルサレムにおいて、すなわち神聖な歴史の究極的完成の段階において、究極的に完成します。B. 私たちは、自分が人類歴史の中に生きているだけなのか、それとも神聖な歴史の中にも生きているのかを、考える必要があります: 私たちはみな人類歴史の中で生まれましたが、神聖な歴史の中で再び生まれ、再生されました/もし私たちの生活がこの世の中にあるなら、私たちは外側の人類歴史の中に生きているだけです/もし私たちの生活が召会の中にあるなら、私たちは内側の神聖な歴史の中に生きています/召会はキリストの現れの拡大として、外側の人類歴史の内側にある神聖な歴史の一部分です/召会生活の中で、神の歴史は私たちの歴史です。神と私たちは一つの歴史、すなわち神聖な歴史を持ちます。私たちの神はすばらしい歴史を持っており、この歴史は私たちを含んでいます。神の歴史は私たちの歴史となりました。なぜなら、彼は私

たちと結合しているからです/神がご自身の歴史の中で行なった事は何であれ、行なっている事は何であれ、行なおうとしている事は何であれ、すべて私たちのクリスチャン生活と召会生活のためです。C. 「私たちの生活、日常の歩み、学業、仕事、事業は、今日の地上での神の驚くべき卓越した行動の中の神の歴史の一部分でなければなりません。…私たちは神の歴史において、神を愛する勝利者たちの中で神が行動し、活気づけると、神と一である必要があります。すなわち、私たちは今日、この地上で、命において、生活において、私たちが行なうすべてにおいて、神と一である必要があります! 私たちは神の今日の歴史を書く必要があります!」II. 今日、神聖な歴史の中で回復されつつあるものは、神のエコノミーであり、その中心は神の中心的な働きです。それは、ご自身をキリストにあつて彼の選ばれ贖われた人々の中へと造り込み、ご自身を彼らと一にして、ご自身を表現することです: A. 神の回復において神のエコノミーを遂行するための神の究極的な行動は、ご自身を、すなわち父、子、霊を、私たちの中へと造り込んで、私たちの命とならせることです。それによって、私たちは彼を生かし出し、彼を表現して、彼のからだ、召会となります。B. 神のエコノミーは、キリストをすべてとならせ、キリストを中心性と普遍性とならせて、神の増し加わり、神の拡大、すなわち召会を生み出すことです。神の増し加わり、神の拡大は、神の豊満であり、彼を表現します。C. 神がご自身のエコノミーにおいて願っていることは、ご自身を人の中へと造り込んで、私たちと一となり、私たちの命、命の供給、すべてとなり、私たちが彼の表現とならせることです。こういうわけで、神のエコノミーにおける神の意図は、神と人から構成された団体の実体を得て、彼の永遠の表現とならせることです。D. 神のエコノミーによれば、神は世界を支配し、ある状況を生み出してイスラエルを彼の選民とならせ、召会を得て彼の奥義的な民とならせ、諸国民を得て神の永遠の王国の中の臣民となさせます。もし私たちがこの事を見るなら、自分がどこにいるのかを知り、自分の人生の意義を知るようになります。E. 私たちは神のエコノミーの明確なビジョンを持ち、このビジョンによって支配され、制御され、導かれ、保たれ、保護される必要があります。今日、主の回復の中で、私たちは神のエコノミーのビジョンにおいて、力強くなり、また揺り動かされない者とならなければなりません。F. 神の究極的な行動は、神の奥義であるキリストに私たちの中へと入っていただき、私たちの命となつていただくことです。それによって、私たちは彼の生ける肢体となつて、彼のからだを形成します。彼のからは、すべての中ですべてを満たしている方の豊満です: キリストを生きている人たち、霊の中で生きている人たちは、団体の面においてキリストの実際的なからだです。彼らは実際において一人の新しい人、すなわち新創造でもあり、三一の神を表現する新しい生活をします/最終的に、からだの生活はローマ12章の実際へと到達します。この事は、主の再来のために花嫁の用意を整えます/「神の終極の動きに対して負担を持ちなさい。そうすれば、神とあなたが一であるのを見るでしょう。あなたの生活には何の問題もないでしょう」/「起き上がり、主の回復のために立ちなさい。これは終極の時代であり、神はご自身の定められた御旨を達成し、主の再来をもたらします」。

## 召会のお知らせと交わり:

① 関西責任者、奉仕者ネットブレンディング集会:  
8/8(土)10:00-12:00@魚崎で行います。

前半:「キリストのからだを建造するために、姉妹達は成就されて積極的に機能する必要がある」

後半:JGW 廣野兄弟による秋の特別集会の交わり  
各地区の責任者と奉仕者の姉妹達は、時間を聖別し、ぜひ参加するようにしてください。

② 召会生活における福音と牧養の枠組み:

私たちが神聖な歴史を書くために、実際に毎週出て行って(ネットを含む)、福音を伝える必要があります。

**Crucial Point(1):自分の人生の中に神聖な歴史を持つために、霊に従って生き、召会の集會に参加する**

ヨエル1:4 かみ切るいなごが残したものは、群がるいなごが食べ、群がるいなごが残したものは、なめ尽くすいなごが食べ、なめ尽くすいなごが残したものは、食い尽くすいなごが食べた。2:25 群がるいなご、なめ尽くすいなご、食い尽くすいなご、すなわち私があなたがたの間に送った大軍勢が食べた年を、私はあなたがたに償い戻す。

OL1:この宇宙には、二つの歴史があります。すなわち、人の歴史(人類歴史)と神の歴史(神聖な歴史)です。前者は、外側の殻のようなものであり、後者は、殻の内側の核のようなものです。OL2:人の中にある神の歴史は、肉体と成ることをもって始まりました。そして、肉体と成ること、人の生活、十字架、復活、昇天という彼の過程をもつて継続しました。ホセア 11:4 は、これらが人の綱、愛のきずなであると言います。ホセア 11:4 私は人の綱、愛のきずなで彼らを引いた。私は彼らにとって、あごからくびききはずす者ようになり、優しく彼らに食べさせた。

小預言書で、人類歴史が明確に定義されており、それはヨエル 1:4 で述べられている四種類のいなごによって表徴されています。人類歴史の内側にある神聖な歴史も、かなり詳しく啓示されています。神聖な歴史は、人性における三一の神の神聖な奥義として、過去の永遠に、永遠の神と彼の永遠のエコノミーをもつて始まりました。それは継続して、キリストは肉体と成り、死に、葬られ、復活し、神の贖いと救いを地上のすべての諸国民に拡大し、究極的に完成された霊を注ぎ出して三一の神の団体の表現としての召会を生み出し、諸国民の願い、また義の太陽として二回目に来臨し、彼の軍隊としての勝利者たちと共に来て、反キリストと彼の軍隊を打ち破り、シオンで千年王国において王として支配します。最終的に、王国は新しい天と新しい地における新エルサレムにおいて究極的に完成し、永遠に至ります。新エルサレムは神の歴史の究極的完成の段階です。

私たちは、この二つの歴史の明確な展望を持つ必要があります。それは物質的な人類歴史と奥義的な神聖な歴史です。私は、私たちがみなそのような展望を持つことを望みます。人の歴史、世界の歴史は外側のものです。神聖な歴史、すなわち人性の中にあり、人性と共にある神の歴史は、内側のものです。

**適用:ビジネスパーソン・大学院生編**

あなたの人生が人類歴史、すなわち勉強し、受験し、卒業し、働き、結婚し、子供をもうけ、マイホームを購入する等だけであれば、それは殻だけの生涯で何の価値

もなくなります。殻自体には、何の価値もないからです。しかし、殻も内側に神聖な核を持つなら、この核のゆえにその殻は価値があるようになります。

Ⅱコリント4:6 なぜなら、「暗やみから光が照りいでよ」と言われた神は、私たちの心の中を照らして、イエス・キリストの御顔にある神の栄光の知識を、輝かせてくださったからです。7 しかし、私たちはこの宝を土の器の中に持っています。それは、この卓越した力が神のものであって、私たちからではないことが現れるためです。

7節FN「しかし」:神が私たちの心の中を照らすことは、私たちの中に宝を、すなわち栄光のキリストをもたらし、彼は神の具体化であり、私たちの命、またすべてです。ところが、この宝を入れている私たちは、土の器であり、価値がなく、もろいものです。極めて尊い宝が、価値のない器の中に入れられているのです!このことは、その価値のない器を、極めて尊い務めをなす新契約の奉仕者となりました。

ビジネスパーソンあるいは研究者であるあなたの人生を有意義なものにするために、すなわち、殻であるあなたの人生の中に神聖な歴史を持つために、①召会の集會に来る、②肉に従ってではなく、霊に従って生活し集會することを実行してください。

Ⅱテモテ3:2 なぜならその時、人々は自己を愛する者、金銭を愛する者、誇る者、傲慢な者、ののしる者、親に逆らう者、感謝することを知らない者、聖くない者、3 無情な者、和解しない者、中傷する者、自制心がない者、粗暴な者、善を愛さない者、4 裏切る者、無謀な者、高ぶって盲目になっている者、神を愛するより快楽を愛する者、5 敬虔を装いながら、その力を否んでいる者となるからです。これらの者たちから離れ去りなさい。

召会はあなたの肉の欲、すなわち自己愛、個人主義、高ぶり、感謝しないこと、裏切り、快楽を愛すること、偶像礼拝、ごまかし、嫉妬、怒り、分裂、分派、虚栄等を満たすための場所ではありません。この世はこのような肉の情欲に満ちていますが、召会は神の王国であるので、召会の集會に絶対にこれらを持ち込んではいけません。もし肉に従って集會するなら、あなたはいなごに食いつくされ、かえって苦しむことになります。

例えば、あなたの預言に対する聖徒たちのアーメンよりも、別の姉妹に対するアーメンの方が大きいので、あなたは嫉妬し、怒ります。そしてプライドがあるので奉仕者に正直に言わず、別の理由でその姉妹について文句を言います。これは、あなたが集會の中で肉に従って生きていることを証明しています。神聖な集會と肉の情欲を混ぜるのはバビロンの原則です。主の回復の召会生活は、これらのものを一切拒絶します。主があなたを憐れんでくださり、暗闇が照らされて、自分の罪を告白して、霊に従って集會できますように!主はあなたが墮落している時も、人の綱、愛のきずなであなたを引き寄せています。

祈り:「おお主イエスよ、私の生活の内側に神聖な歴史を持つことができますように。そのためには、霊に従って生活し、集會をする必要があります。神聖な集會に肉の情欲を持ち込んではいけません。これはバビロンの原則です。私の内側の暗やみを暴露してください。私は悔い改めて罪を告白します。私の生涯が中身の無い殻だけの人生にならないようにしてください。」

**Crucial Point(2):** キリストのからだの生活のために時間を捧げる。そうすれば日常の歩み、学業、仕事、事業は、今日の地上での神の歴史の一部分になる  
ローマ 12:1-2 あなたがたの体を、神に喜ばれる、聖なる、生きた犠牲としてささげなさい。それが、あなたがたの理にかなった奉仕です。またこの時代にかたどられてはいけません。 OL1: 私たちは、自分が人類歴史の中に生きているだけなのか、それとも神聖な歴史の中にも生きているのかを、考える必要があります。 OL2: 私たちの生活、日常の歩み、学業、仕事、事業は、今日の地上での神の驚くべき卓越した行動の中の神の歴史の一部分でなければなりません。…私たちは神の歴史において、神を愛する勝利者たちの中で神が行動し、活気づけるとき、神と一である必要があります。

私たちはみな人類歴史の中で生まれましたが、神聖な歴史の中で再び生まれ、再生されました。今私たちは自分自身にこの質問をする必要があります。私たちは神聖な歴史の中に生きているのでしょうか、それとも単に人類歴史の中に生きているだけでしょうか？ もし、私たちの生活がこの世の中にあるなら、私たちは人類歴史の中で生きています。しかし、私たちが召会の中で生きているなら、神聖な歴史の中に生きています。召会生活の中で、神の歴史は私たちの歴史です。今や両者、すなわち、神と私たちは一つの歴史、神聖な歴史を持っています。これが召会生活です。

神聖な歴史には、新創造があります。すなわち、新しい心、新しい霊、新しい命、新しい性質、新しい歴史、新しい終結を持つ新しい人です。主を賛美します。

正常なクリスチャンとなり、今日の勝利者となり、主の現在の召しに答え、主の回復における彼の現在の必要に応じるためには、ただいわゆる良い兄弟や良い姉妹となり、召会の集会に定期的に参加し、正しく振る舞い、人の目にいづらか完全である生活をするだけでは、絶対に十分ではありません。私たちは神の歴史において、神を愛する勝利者たちの中で神が行動し、活気づけるとき、神と一である必要があります。すなわち、私たちは今日、この地上で、命において、生活において、私たちが行なうすべてにおいて、神と一になる必要があります！ 私たちは神の今日の歴史を書く必要があります！ 私たちは、活気づける神と一になって前進を続ける必要があります！ 彼の中で！ 彼と共に！ 彼によって！ 彼のためにです！ 私たちはバイタルになり、生き生きしており、活動的である必要があります！ 私たちは今日のヨシュアとカレブとなって、キリストのために神の約束された地を所有し、彼の所有となる必要があります。私たちは今日のルツとなって、神のエコノミーに転換し、インマヌエルの地に入り、キリストと結婚する必要があります。それは、私たちがキリストを生み出して、人の今日の必要に応じるためです。

### **適用: 新人及び青少年・大学生編**

主の回復の中で多くの主を愛し、主と召会生活に自分自身を捧げる若者が起こされるべきです。このような人にとって、日常生活、学業、仕事、事業は神聖な歴史の一部分となります。あなたが単に人間生活を生きるだけであれば、たとえ経済的に祝福されたとしても、それは殻だけで何の価値もありません。ローマ 12章の献身は、実際的な召会生活の実行のための

献身です。体を捧げるとは、実際的に時間を捧げることです。神のエコノミーとはあなたがキリストのからだの生活、召会生活をするために時間を割くことです。この世を愛して、人類歴史を生きるだけであれば、あなたの日常生活に神聖な歴史はありません。

啓18:12 その荷は、金、銀、…13 人の魂である。

FN「人の魂」: バビロンによって売られた荷の第一項目は、金であり、最後の項目は人の魂です。「人の魂」は、雇われるために自分自身を売る人を指します。これは来たるべきバビロンだけでなく、今日の世界をも描写しています。人々は自分の魂を、自分の命を、すなわち自分自身を、その職業に売って、神と彼らの永遠の運命を無視しています。

例えば、あなたはインターネットのゲームやYoutubeなどに時間を取られすぎないようにしてください。あなたの本分は勉強であり、仕事です。また、あなたの本分が祝福されるために、キリストのからだの生活を実行する必要があります。あなたは自分の体を捧げ、時間を捧げる必要があります。一日は24時間であり、インターネットで時間を使いすぎると、勉強や仕事と召会生活を実行する時間がなくなります。

どんな理由であれ、勉強が忙しい、部活が忙しい、仕事が忙しい、仕事の付き合いで忙しい等の理由で集会から遠ざかっている時、召会生活が神のエコノミーであることを思い出し、霊の中で祈り、主の中で再考してください。更に霊的なパートナーと共に交わり祈ってください。神のエコノミーはあなたの頑張りではありません。あなたはただ主に開き、パートナーに開いて主の恵みを楽しみ、恵みの中で働けたいのです。エレミヤ書の結晶の学び #8で、エド兄弟は、「神の民としての私たちが帯びなければならぬ印とは、私たちが神と共に安息しており、神を楽しんでおり、先ず神で満たされるという事です。それから、私たちが満たしている方と共に、私たちは働きます。更にまた、私たちは、神と共に働くだけでなく、神と一であることによって働き、働くための力また労苦するための活力として神を持ちます」と言われました。

決して、「世の中の人と同じにするほうが楽だし、違うことをするのは大変なのでやめておこう」と考えてはいけません。あなたはただ心を開き、霊を活用し主の恵みを受け入れ、享受すればよいのです。享受したキリストがあなたの中で、力また活力となりすべての事を行ってください。もしあなたが主を享受せず、時間を召会生活、からだの生活に捧げないなら、あなたの人生は人類歴史だけで、神聖な歴史はありません。このような学生生活、ビジネスライフは主の同在がなく、主の力、活力はあなたと共にありません。この世の傾向に対抗する力はありません。若い時からパートナーと共に主を楽しみ、自分の体を、自分の時間を少しずつ捧げることを学んでください。主の恵みがあなたの霊と共にありますように！

祈り: 「おお主イエスよ、勉強や仕事で毎日忙しいですが、もし召会生活がなければ私の人生は無意味なものになってしまいます。時間を贖い取り、御言葉にあずかり、祈り、主と交わり、集会に参加します。私は神の今日の歴史を書く必要があります。そのために自分自身を主に捧げます。主が私の時間を得てください。神と一になって前進し続けます！ アーメン！」

**Crucial Point(3):** 主の回復のために立ち上がり、からだの中で各肢体が機能を発揮する。これは終極の時代であり、神の御旨を達成し、主の再来をもたらすべきである。そうすれば、あなたの生活には何の問題もない

啓19:7 私たちは喜び歓喜し、彼に栄光を帰そう。小羊の婚姻の時が来て、彼の妻は用意を整えたからである。

ローマ12:4-5 一つの体の中には多くの肢体があり、そしてすべての肢体が同じ機能を持っていないように、私たちも数は多いのですが、キリストの中で一つからだであり、そして各自は互いに肢体なのです。

**OL1:** 神のエコノミーによれば、神は世界を支配し、ある状況を生み出してイスラエルを彼の選民とならせ、召会を得て彼の奥義的な民とならせ、諸国民を得て神の永遠の王国の中の臣民となさせます。もし私たちがこの事を見るなら、自分がどこにいるのかを知り、自分の人生の意義を知るようになります。

**OL2:** 私たちは神のエコノミーの明確なビジョンを持ち、このビジョンによって支配され、制御され、導かれ、保たれ、保護される必要があります。今日、主の回復の中で、私たちは神のエコノミーのビジョンにおいて、力強くなり、また揺り動かされない者とならなければなりません。

**OL3:** 最終的に、からだの生活はローマ12章の実際へと到達します。この事は、主の再来のために花嫁の用意を整えます。

**OL4:** 「神の終極の動きに対して負担を持ちなさい。そうすれば、神とあなたが一であるのを見るでしょう。あなたの生活には何の問題もないでしょう」。

**OL5:** 「起き上がり、主の回復のために立ちなさい。これは終極の時代であり、神はご自身の定められた御旨を達成し、主の再来をもたらします」。

私は自分が見たものを知っており、自分が教えているものを知っており、自分が主の民に供給しているものを知っています。神のエコノミーのビジョンを持っているなら、私たちは自動的にただ一つの選択、好み、味わい、務めを持つでしょう。私たちはすべてを含む、またすべてに拡張するキリストと、真の正常な召会生活だけを顧みるでしょう。今日、主の回復の中にいる私たちは、神のエコノミーのビジョン、神の永遠のみこころにおいて、力強くなり、また揺り動かされない者とならなければなりません。

私たちは、…私たちの重大な責任を、認識しなければなりません。第一に、私たちは正しく、十分に、純粋に福音を宣べ伝えなければなりません。第二に、私たちは人々に聖書を教え、人々を真理の全き知識にもたらさなければなりません。私たちは神の神聖な御言を真に尊び、これを知る人でなければなりません。第三に、私たちはあらゆる種類の宗教と実行を落とし、聖書にしたがって共に集まらなければなりません。私たちは、純粋で、聖書的で、真実の、再生され、救われ、血で洗われたクリスチャンであって、主イエスの御名の中で、聖書にしたがって、何の組織もなく、共に集まって来なければなりません。

主の回復は、単に一般的なクリスチャンの働きではありません。確かに主は、この地上での彼の終極の動きについて、何かを私たちに見せてくださいました。あなたは聞いたことを主にもたらして、祈らなければなりません。あなたは妻や夫、あなたの近くにいる人たちと、何度も交わらなければなりません。

## 適用: 奉仕者編

ローマ12章は、先ずキリストのからだの生活のためにあなたの体を捧げること、すなわち時間を捧げingことを述べ、その後、各自はキリストの中で肢体であり、様々な機能を持っていることを述べています。あなたはキリストのからだの中で、キリストのからだのために自分自身の肢体の機能を発揮してください。各自が肢体の機能を発揮することで、ローマ12章の実際がもたらされて、主の再来の準備が整います。

各自がからだの建造のために機能することで、最も重要な機能は、Iコリント14章にある召会の集会で全員が預言することです。預言とは神のために、神を人々に語り出すことです。預言するためには、**①**御言葉を祈り、研究し、暗証し、語る(祈研暗語する)、**②**日常生活で霊に従って歩む、**③**神聖な光の下で、人類歴史の中の神聖な歴史を理解し、経験する、**④**預言を準備しまとめる、**⑤**即時的な靈感を持って語る、**⑥**神の御言葉を語る時、御言葉の啓示の日常生活への適用を語る、**⑦**聞く人が建造、励まし、慰めを得ることができるように、神の言葉を語るべきです。

更に私たちは皆、新約の福音の祭司ですので、福音と新人の牧養のために、兄弟姉妹と共に毎週出て行ってください。福音と牧養のためには、とりなしの祈りと行動が必要です。

ローマ12章は積極面で体を捧げingことを述べ、消極面でこの世を愛し、思いがこの時代にかたどられないように警告しています。**ローマ12:2 (思いが)この時代にかたどられてはいけません。Iヨハネ2:15 世と世にあるものを愛してはいけません。だれでも世を愛するなら、御父への愛は彼の中にありません。**

**エレミヤ書結晶の学び#9 OL:** この世は先ずエジプトに属し、それからバビロンに属します/サタンは人を強奪して、人が自分の生存だけを顧みて、人の生存における神の定められた御旨を顧みないようにさせています/神が私たちを召した目的の一つの面は、私たちを用いて、他の人たちをサタン及びこの世の強奪と暴虐から連れ出すことです/バビロンの原則は、人のものを神の御言と混合させることであり、肉のものを霊のものと混合させることです/バビロンの王ネブカデネザルは、エルサレムにある神の家を焼いて、神を礼拝するための神の家にあるすべての器を運び去り、それらをバビロンにある彼の偶像の宮に置きました。

この世を愛すると、思いがこの時代にかたどられ世の人と同じ事を考えて、同じ道を歩み始め、神のみこころを無視します。神はエジプトとバビロンを必ず裁きます。あなたは今、主の恵みに頼り、そこから出て、主の地上での終極の動きにあずかる責任を果たすべきです。

**祈り:** 「おお主イエスよ、私は一人の奉仕者として主の再来をもたらすために、ローマ12章にある全員がからだの中で機能する召会生活を回復します。そのために、この世を愛し、思いがこの時代にかたどられてはいけません。正しく聖書を学び、完全な福音を人々に伝え、人々を神にもたらすことができますように。神の終極の動きに対して負担を持ちます。そうすれば、神は私の生活の必要を顧みてくださいます。アーメン!」